

Press Release

2023年10月26日

報道関係者各位

株式会社イメージワン
(東証スタンダード市場、コード:2667)

AI を活用した森林解析サービスの提供を開始

Pix4D 社製品と森林 DX を推進する DeepForest Technologies 社製品
の組み合わせにより、J クレジット創出貢献が可能

「ヘルスケアソリューション」「地球環境ソリューション」を主要事業とする株式会社イメージワン(本社:東京都品川区、代表取締役社長:川倉 歩、以下「当社」)は、京都大学発のスタートアップベンチャーDeepForest Technologies 社(本社:京都府京都市 代表:大西 信徳)が開発した、ドローンデータから森林情報を解析するソフトウェア「DF Scanner」および「DF LAT」の販売を開始いたしました。

日本の国土面積(3,779万ヘクタール)の約7割を森林面積(2,505万ヘクタール)が占めており、そのうち、人工林面積は1,020万ヘクタールで、森林面積全体の約4割となりますが、安価な輸入材の影響と、林業従事者の減少、高齢化により管理が行き届かなくなることや、放置林は自然災害に弱く、CO2吸収源としても認められないため、脱炭素社会の実現への妨げにもなっており、森林情報のデジタル化(森林DX)の推進に不可欠なツールを活用することにより、これらの諸問題の解決に役立つと考えております。以下に今回当社が取り扱いを開始するソフトウェアの特徴を示します。

- 「DF Scanner」について
「DF Scanner」はドローンで撮影した写真などから森林情報を解析するソフトウェアです。ドローンで撮影した画像を利用する場合、当社が既に取り扱っている Pix4D 社製処理ソフトウェア等を用い、森林解析に必要なデータを生成し、「DF Scanner」の特徴である AI を活用した解析機能により、スギ・ヒノキだけでなく、モミやアカマツなどの針葉樹やコナラ・ブナなどの一部広葉樹など計60種ほどの識別を行い、各樹木の検出、樹種識別、樹高、DBH(樹木の胸高直径)、幹材積推定を各樹木単位で一元的に解析をすることで、日々の維持管理作業の効率化、デジタル化が期待できます。
- 「DF LAT」について
「DF LAT」はレーザードローンで取得した三次元点群データから詳細な地形図や樹冠高データなど、森林解析用のデータ生成を行うソフトウェアです。市販のレーザードローンのデータから、樹木の下での地面部分の検出、概ね5cm解像度の数値地形データならびに数値標高データの作成などが可能となり、林内の作業道や微地形などを確認することができます。

「DF LAT」で作成した各種データを元に「DF Scanner」で追加解析することで、より正確な樹高や材積量の把握が可能となります。さらに計測要件を満たすことにより、J クレジット創出にも利用可能となります。

今後、当社では、林業組合や林業事業者、自治体様へ本ソフトウェアの販売を行うほか、森林DX構築や、Jクレジット創出に向けた各種サービスの展開を進めてまいります。

なお、本件による当社業績への影響は軽微です。業績に与える影響が生じる場合には、速やかにお知らせいたします。



Press Release

DeepForest Technologies について

代表取締役の大西信徳が、京都大学在学時代に開発したドローンから AI を用いて森林の樹木を識別する世界初の新技術を、林業や炭素吸収量の推定、生物多様性保全、環境問題などの社会問題に活かすため、2022 年に創設されたスタートアップベンチャー企業です。誰もが森林管理にドローンを活用できる環境を提供し、林業の効率化や、炭素吸収量・生物多様性評価による森林保全を目指しています。「DF Scanner」、「DF LAT」を主軸とし、ドローン計測からの解析対応や J クレジット申請用データ取得までワンストップでサービス展開しています。

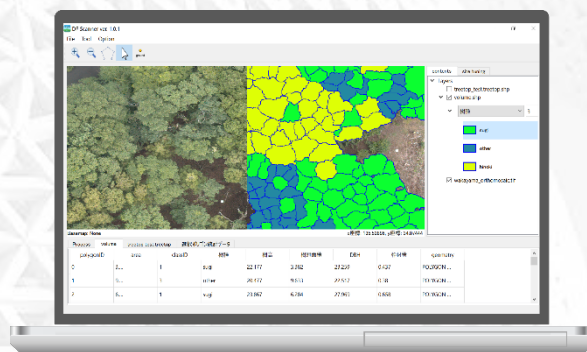
- Home Page: <https://deepforest-tech.co.jp/>

「DF Scanner」:ドローン画像からの森林情報解析ソフトウェア



主な機能

- 樹頂点検出
- 針葉樹樹冠分離
- 自動樹種識別
- 樹高測定
- 胸高直径・幹材積推定
- 炭素蓄積量推定
- 選択範囲での統計情報計算



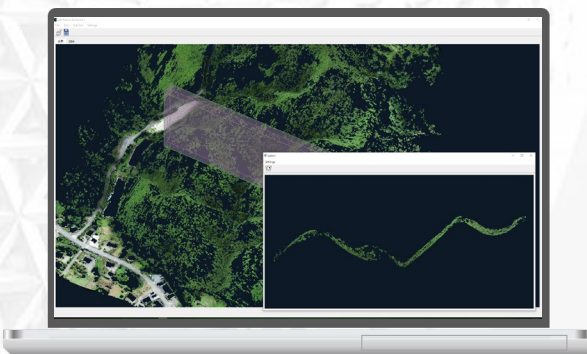
誰もがドローンで簡単に森林の状況や価値を把握できるように

「DF LAT(Lidar Analysis Tool)」:ドローン LiDAR 点群データ処理ソフトウェア



主な機能

- 自動地面検出
- DSM(Digital Surface Model)作成
- DTM(Digital Terrain Model)作成
- CHM(Canopy Height Model)計算



誰もがドローンで簡単にレーザー解析ができるように

Press Release

Pix4D について

Pix4D(Pix4D SA)は、2011 年にスイス・ローザンヌで設立され、現在は、ベルリン、マドリード、デンバー、ブカレスト、上海および東京にオフィスを展開しています。

同社は、ドローンマッピング業界をリードするフォトグラメトリー(SfM)ソフトウェアである「PIX4Dmapper」の知名度が最も高いですが、大規模なドローン測量や、スマートフォン測量など次世代フォトグラメトリーソフトウェア「PIX4Dmatic」、農業分野向けの「PIX4Dfields」、防災・公共安全分野向けの「PIX4Dreact」、クラウド上で画像処理を行い、データの共有が可能な「PIX4Dcloud」、効率的な地形モデリングやベクトル化に最適な「PIX4Dsurvey」など、ご利用用途に応じた新しいソフトウェアソリューションを提供しています。

- Home Page: <https://www.pix4d.com/jp/>

株式会社イメージワンについて

商号:	株式会社イメージワン(Image ONE Co., Ltd.)
本社所在地:	東京都品川区 1-6-3 大崎ニューシティ 3 号館 6F
代表者:	代表取締役社長 川倉 歩
設立:	1984 年 4 月 11 日
上場市場:	東京証券取引所スタンダード市場
証券コード:	2667
URL:	https://www.imageone.co.jp/
事業内容:	病院用システムの開発・販売、医療材料・消耗品の販売、医療機器の販売、再生可能エネルギー事業、土木測量分野ソフトウェア・ハードウェア・ソリューションの販売
問い合わせ先:	GEO ソリューショングループ 石川(電話 03-5719-2175) メールアドレス geo-inf@imageone.co.jp